

未来へ続く
朴葉寿司で
まちづくり



恵那の朴葉寿司を全国へ

恵那で昔から根付いている朴葉寿司ですが、ここ数年、朴葉寿司がもっと多くの人に愛され、受け継がれていくようにという機運が高まっています。この流れを生み出したのが、2020年に立ち上げられた「恵那の朴葉寿司プロジェクト」。その代表を務めるのが、中山道大井宿寿司幸の女将、杉本桂子さんです。

小さな頃から、葉っぱに包まれたお寿司が大好きだったという杉本さん。全国に目を向けると、葉っぱに包むお寿司は他にもある中で、杉本さんは朴葉寿司の魅力をこう

語ります。「具材がたっぷり、葉っぱを開けると、色とりどりですごく楽しい。岐阜県の中でも、恵那市の朴葉寿司は最もと言っていいほど豪華です。また、自分で作るものと人からもらうもので、具材が違っ楽しみもあります」。

「こんなにもおいしくて、ワクワクする朴葉寿司を、もっと世の中に広めたい!」。そんな熱い杉本さんの思いをきっかけに、地元で食に関する活動をしている人や、恵那市役所の人たちが集い、朴葉寿司プロジェクトはスタートしました。



朴葉寿司を求めて長蛇の列!
市内外で大人気

情報発信から活動がスタート

朴葉寿司プロジェクトの活動の3つの柱。それは「伝承・食・販売(発信)」です。

最初は、パロー恵那ショッピングセンターにある「恵那中央出張所えなえーる」を拠点に「好きな朴葉寿司具材コンテスト」やYouTubeを通じた情報発信からスタート。

イベントを通じて販売を開始

そして2021年は、より多くの人たちに朴葉寿司を手にとってもらおうと、様々なイベントを通じて、朴葉寿司を販売しました。大きな手ごたえとなったのが、6月にパローで開催した朴葉寿司まつり。市内の飲食店などの朴葉寿司が一堂に集まるといって初の試みでした。

次々と出店を開始

朴葉寿司の人気の広がりを感じた杉本さんたちは、市内の飲食店に声をかけ、2022年5月〜6月は岐阜タカシマヤ、恵那市内のマルシェ等で、ほぼ毎週のように出店。また、ふるさと納税でも朴葉寿司を出品し、東京や大阪など都市部の方たちにも何百もの朴葉寿司を送り届けました。



≧ 予想以上の反響に驚きました。 ≦

10時から販売する予定だったのが、あまりにも列が長くなりすぎて、10時前から販売を開始することになり、結果として、10時前に売り切れてしまったんです。「こんなにも朴葉寿司が売れるのか!」と驚き、これから販売にも力を入れてやっていこう、となりました。

中山道大井宿 寿司幸の女将
杉本 桂子さん

2020年から、朴葉寿司プロジェクト代表として、朴葉寿司の販売やPR活動を牽引している。



朴葉寿司を求めて
県外からお客さんが
訪れるような恵那へ



誰よりも熱い情熱を持って、朴葉寿司を広める杉本さんが目指すもの。それは「恵那といえば、朴葉寿司を全国に発信すること」。そのために、恵那市内での食文化の伝承と、市内外での販売に力を入れていく予定です。生の朴の葉っぱの朴葉寿司が食べられるのは初夏だけ。私は、初夏に朴の葉が風に揺れている爽やかな季節が大好きです。ぜひ県外の方にも、初夏の恵那に訪れてもらって、郷土の味を楽しんでもらいたいですね。

恵那に来て
朴葉寿司を
食べてください!

